

授業の視点3 自己の生き方について考えることができる発問と振り返りの在り方

1年 資料名 「120てんのそうじ」

3年 資料名 「ぼくのボールだ」

6年 資料名 「ロレンゾの友達」

授業の最初と同じ発問

「どんな気持ちで働きたいかな」

授業の最初と同じ発問

「みんなが楽しく遊ぶために大切なことは何だろう」

授業の最初と同じ発問

「本当の友達とはどんな友達だろう」

「授業の最初と最後の変容」

成果と課題



- 同じ発問⇒本時の価値をより広い視野で捉える
- 学びの振り返り⇒物事を多面的多角的に考える
- △振り返り⇒他者との意見や考え方の違いに触れる場の設定が必要



導入

現在の生活経験の中から自分なら何ができそうか考えた。

終末

みんなのためになっていることに気付き、本時の価値をより広い視野で捉えることができた。

「授業の最初と最後の変容」

成果と課題



- 同じ発問⇒自己を見つめ、実践意欲へとつなげる
- 振り返りの視点⇒3つの観点を示す
- △振り返り⇒最初と最後の比較を促す補助発問



導入

公正・公平の価値観を含んだ考えがいくつかでてきた。

終末

「違う人にも投げさせる。」といった、これからの生活に生かそうとする発言が多かった。

「授業の最初と最後の変容」

成果と課題



- 同じ発問⇒自分の変容を実感
- 視点を与える⇒今後の生き方について考えられる
- △視点の与え方⇒自己の変容をより実感させたい



導入

「仲の良さ」を友達と考えている児童が多かった。

終末

うわさに振り回されず、本人に確認したり、信じ合ったりすることを大切に思う児童が多かった。